

第3分科会 研究課題「教育環境整備に関する課題」

研究主題 教育のICT活用による魅力ある授業づくり

～教師集団の「スキルアップ研修」を通して～

東児湯支会 上新田中 教頭 谷口 明文

1 主題設定の理由

新富町では「多様性を認め合い、創造する、自律した子どもの育成」を教育目標とし、その実現のために3つの基本となる教育方法「スクールワイドPBS」「しんとみスタイル」「4つの実感の実践」のもと、各学校で実践に取り組んでいる。

これらの実践が、社会環境の変化や超スマート社会(Society5.0)、人生100年時代や少子高齢化の到来を見据え、子どもたちが自ら考え判断し実行する力や対話を通して最適解を導き出す力、多様な経験を通して新しい発想を生み出す力に結び付くと考えられる。

本校では、今年度「スキルアップ研修」と「しんとみスタイル」を意識した授業改善を中心に研究を行っており、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を進めている。

そこで、本研究はその中でも教育環境整備の視点から本校の「スキルアップ研修」をもとに、教育のICT活用の充実を探るために本主題を設定した。

2 研究のねらい

これまでの本校でのICT活用について検証し、授業改善についての現状と課題について整理する。

3 研究の概要と成果

(1) 本校の「スキルアップ研修」の経緯

① 令和5年度スキルアップ研修

令和5年度は、県のICT推進モデル校に指定され、校内研修の中でICT活用力を高めるための研修を行った。その際、従来の主題研究ではなく、個人の課題に沿ったスキルアップ研修や外部講師を招いての研修を行った。また、公開授業に向けた指導案検討も行った。

② 令和6年度スキルアップ研修

令和6年度は、前年度に引き続き、個人の

課題に沿ったスキルアップ研修を行った。ただICTだけではなく、各教科に役立つ研修や年度当初のアンケート実施の中からICTツールを使いこなせるようになるための各研修を設定した。また、学校支援訪問後には授業実践研修も実施した。

【資料 授業実践例等のオンデマンド教材】



③ 令和7年度スキルアップ研修

令和7年度は、従来のスキルアップ研修に加え、先生方が日々の業務の中で悩んでいることやもっと学びたいことをグループで研修する形態も取り入れ、課題の共有化を図った。

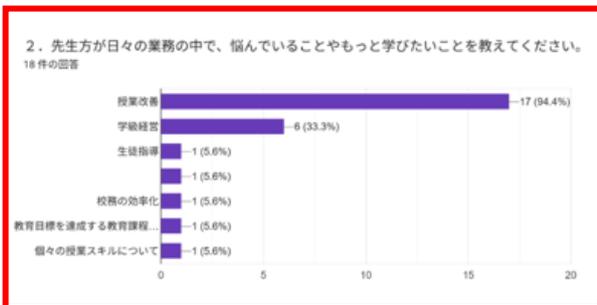
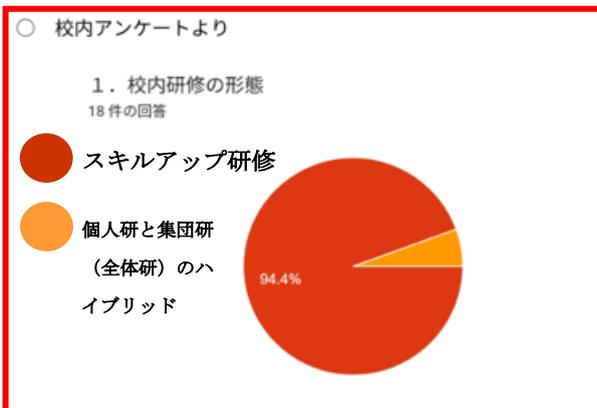
(R7主題研究の在り方についての意見)

- ・今の自分に足りない部分を補いながら自分をもっと研究したい分野について深く学びたい。
- ・ICT活用について直接教えてもらう時間が欲しい。
- ・中学部は教科が違うこともあり、各自教材研究のほうが良い。
 - ・「しんとみスタイル」を中心とした、授業の在り方を集団で共有する研修にしたい。
- ・校務に時間を取られ、授業に力を入れられないため、校務のDX化を図りたい。

・学級経営がきちんとされていないと、授業も落ち着いてできないので、学級経営や生徒指導の研修も行い、その上で授業改善を行いたい（日々の朝の会や帰りの会、掲示物等の仕方や保護者との連携など情報交換も含めて）。

- ・体育や図工、ICTなどの実技演習がしたい。
- ・学年に応じたICT活用の在り方。
- ・ICT活用や個別最適な学び、協働的な学びなどの具体的な実践例を知りたい。

【資料 主題研究校内アンケートのグラフ】



(2) 令和7年度のスキルアップ研修実践

① Google classroomの活用

ア 本年度の主題研究は、Google classroomで全員が参加し、研究資料やICT活用レシピの共有化が大幅に向上した。

イ 教務主任やミドルリーダー、ICT担当教諭によるグループ(小集団)での研修会への呼びかけが容易に行えるようになり、Google Formで参加の可否がすぐ把握できるようになった。スキルアップ研修が、普段の学級経営の悩みや経験談、ICT活用について一緒に考える有意義な時間となっている。

【資料 Google classroom主題研究のリンク】



【資料 教務主任による研修会の案内】



(3) 令和7年度学校支援訪問の実践

本年度9月24日(水)学校支援訪問における授業改善のポイントは、「個別最適な学び・協働的な学び」を実現する「しんとみスタイル」の実践であった。先生方がそれぞれICTの効果的活用を実践しており、ロイロノートのテスト機能を使ったクイズやシンキングツールの活用、身近なストーリー性のある視覚に訴える導入の工夫やスマイルドリルによる個別習熟など、先生方の個別のスキルアップが生かされ、それぞれに素晴らしい授業が行われた。

4 今後の課題

(1) 成果

スキルアップ研修を継続する中で、教職員からの「このようにしたらもっと活用できる」などの声があり、ICT活用について若手とベテランが使用方法を教え合うなど、職員室内でも普段の何気ないコミュニケーションの活性化につながった。

(2) 課題

今後はスキルアップ研修にプラスして、全体でシェアする時間が必要である。また、ICT活用を通して何を身に付けさせたいのかを意識した授業の構築が大切である。